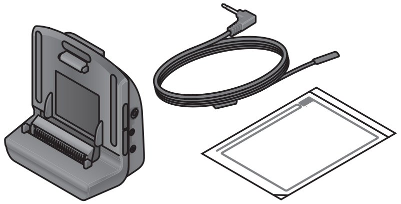


Panasonic

取付説明書

FM-VICS キット

品 番 : **CA-VF010D**

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

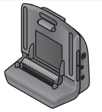
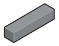
- 本説明書およびカーナビゲーションの説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。**
- この説明書は大切に保管してください。

VICS

内容物の確認

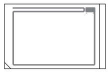
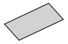
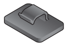
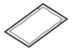
万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

クレードル関係

番号	品　名		数量
❶		クレードル (FM-VICSチューナー/FMトランスミッター内蔵)	1
❷		クッション材	2

- **スタンドは付属されていません。**

FM-VICS用アンテナ関係

番号	品　名		数量
❸		FM-VICS用アンテナ	1
❹		アンテナコード (4 m)	1
❺		アーステープ	1
❻		コードクランパー	3
❼		クリーナー ●アンテナ取付用	1

添付品

取付説明書(本書) ····················1

- 寸法は、おおよその数値です。
- イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お 買 い 上 げ 日	年　　月　　日
販　売　店　名	☎ (　　　　) 　　－

パナソニック株式会社
オートモーティブシステムズ社
〒224-8520　横浜市都筑区池辺町 4261 番地

お客様ご相談センター

- フリーダイヤル 0120-50-8729
  受付 9:00 ～ 17:00/365 日
- ナビダイヤル※ 0570-09-1265（携帯電話など）
- F　A　X※ 045-938-1573
  受付 9:00 ～ 17:00（土・日・祝日・当社休日を除く）

※ ご利用の際の通信料は、お客様のご負担となります。

© Panasonic Corporation 2010

YEFM0410067　F0310-0

適合機種（2010年3月現在）
詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

CN-MP700D CN-MP500D CN-SP700L CN-SP500L	**FM-VICS**が使えるようになります。
CN-SP300L	**FM-VICS**と**FMトランスミッター機能**が使えるようになります。

使いかたやVICS情報有料サービス契約約款については、カーナビゲーションの説明書をご覧ください。

- **本製品の購入価格には、視聴料金 315円(うち消費税15円)が含まれております。**
- **クレードルは、必ず車載用吸盤スタンド(カーナビゲーションに付属)に取り付けてご使用ください。**
  VICS規約により、VICS情報は、車載用12 V電源でご使用の場合のみ受信します。
  家庭用電源や内蔵電池をご使用の場合は、受信できません。

VICS は、財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

説明書に従って、正しく取り付けや配線をする
火災や故障の原因になります。作業が困難な場合は、お買い上げの販売店（専門業者）へご依頼ください。

コード類は、運転を妨げないように引き回す
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと、交通事故の原因になります。

FM-VICS用アンテナは、保安基準の取付許容範囲に貼り付ける
視界不良による事故の原因になります。

視界や運転を妨げる場所※、同乗者に危険をおよぼす場所には、取り付けない
交通事故やけがの原因になります。
※ステアリング･シフトレバー･ブレーキペダル付近など

エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない
エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、死亡事故の原因になります。車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

クランパーなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない
誤って、飲み込むおそれがあります。
万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

⚠ 警告

分解禁止

分解や改造をしない
特に、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。
交通事故や火災、感電、故障の原因になります。

⚠ 注意

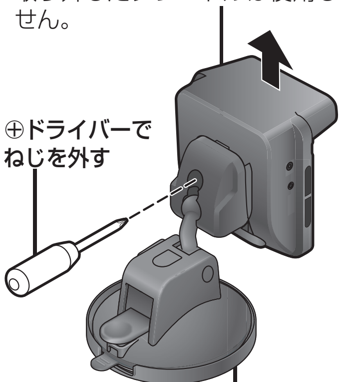
必ず、付属品や指定の部品を使用する
機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因になります。

コードを破損しない
断線やショートによる火災や感電、故障の原因になります。
- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしない
- 車体やねじ、可動部（シートレールなど）へ挟み込まないように引き回す
- ドライバーなどの先で押し込まない

クレードルの取り付けかた

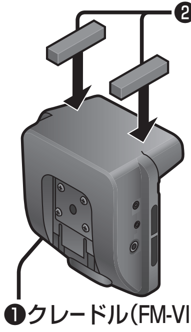
1 車載用吸盤スタンド（背面）からクレードルを取り外す

● 取り外したクレードルは使用しません。

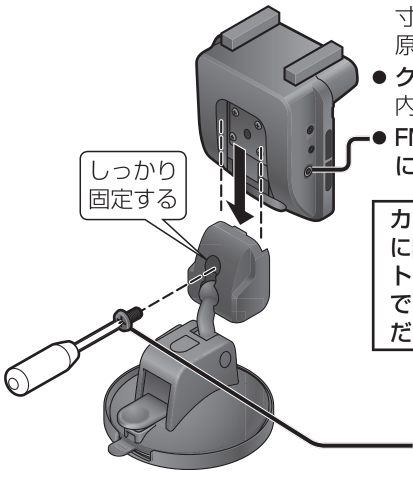


2 クレードル※1の底面に、クッション材を貼り付ける

● 振動でノイズが発生する原因になりますので、下図のとおりクッション材を両端に貼り付けて安定させてください。



3 車載用吸盤スタンドにねじで固定する



お願い

- **クレードルを取り付けるねじは、必ず指定のねじ※2を使用してください。**
  寸法の異なるねじを使用すると、落下や故障の原因になります。
- **クレードル単体にねじを締め込まないでください。**
  内部が損傷し、故障します。
- **FM-VICS/FMトランスミッター内蔵のクレードルにはVICS端子があります。ご確認ください。**

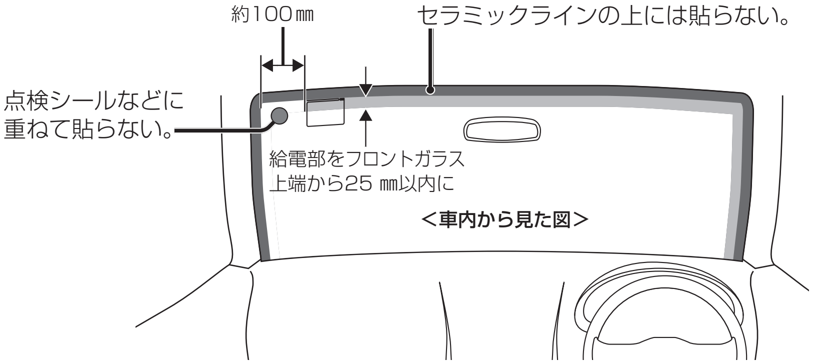
カーナビゲーションと車のラジオアンテナの間に障害物となるようなものがある場合には、FMトランスミッターの受信状態に影響しますので、できるだけ受信状態の良い場所に取り付けてください。

FM-VICS アンテナの取り付けかた

貼り付け位置について

- 必ず車室内(フロントガラスの上側)に貼り付けてください。
  サイドガラスやリヤガラスには貼らないでください。十分な受信状態が得られません。
- 性能を十分発揮するために、必ず指定の位置に、正しい向きで貼り付けてください。
- 国土交通省の定める保安基準※に適合させるため、アンテナの給電部は、取付許容範囲内(　部)に貼り付けてください。

※ 道路運送車両の保安基準 第29条(窓ガラス)、細目告示第39条 および 別添37



取り付ける前に

- アンテナを折り曲げないよう、お取り扱いにご注意ください。
- 仮止めして、貼り付ける位置や向きをご確認ください。(貼りなおせません)
- 貼り付ける前に、付属のクリーナーで設置面(ガラス、ピラー)の汚れ(ごみ、油)などをきれいに拭き取り、はがれないようしっかり貼り付けてください。
  ・設置面が完全に乾くまで、作業しないでください。
  接着不良などによるはがれの原因になります。
  ・気温が低いとき(20℃以下)は、車内ヒーターやデフロスタでガラスを温めてください。
  ・界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。
- 車種によって、性能が発揮できない場合があります。
  ・熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 妨害を防ぐため、他のアンテナから10cm以上離して貼り付けてください。

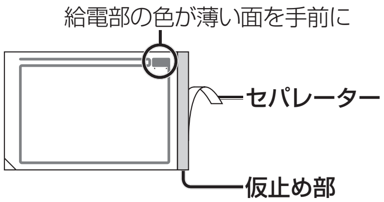
取り付ける前に、ピラーのカバーを取り外してください。

- ピラーのカバーの取り外しかたは、車種によって異なります。
  詳しくは、お車のカーディーラーへご相談ください。
- 作業が困難な場合は、お買い上げの販売店(専門業者)へご依頼ください。
- 配線後、ピラーのカバーをもとに戻してください。
- **ピラーにエアバッグが装備されている場合、取り付けできません。**

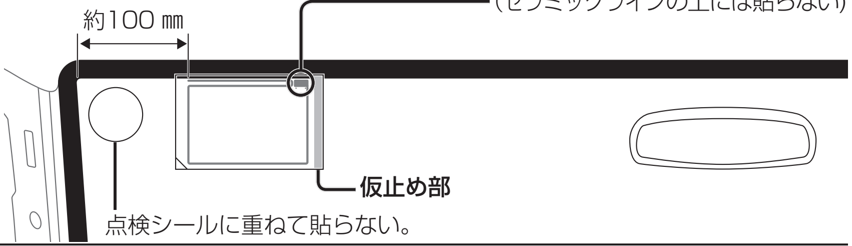
アンテナを貼り付ける

1 仮止め部のセパレーターをはがす

- 糊面に触れないでください。

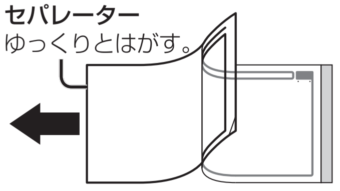


2 貼り付ける位置を決めて、仮止め部をガラスに貼る

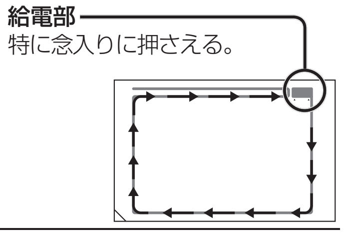


3 セパレーターをはがし、フィルムをガラスに貼り付ける

- 糊面に触れないでください。
- 強く曲げる、急にはがす、引っ張るなどしないでください。
  断線の原因になります。

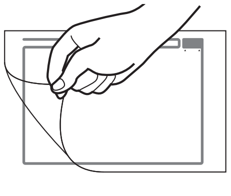


4 アンテナの上を指でこすり、ガラスに密着させる

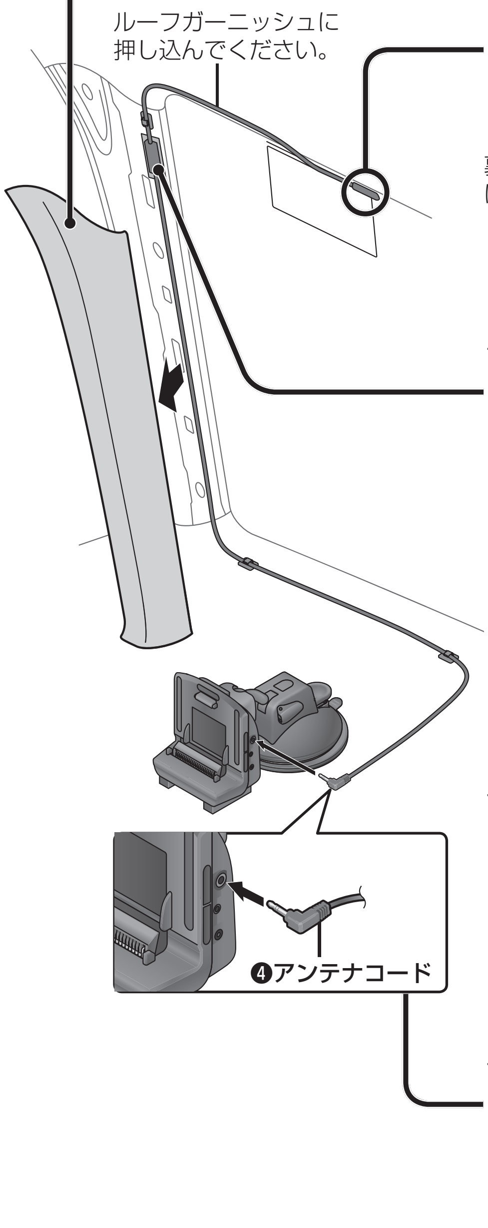


5 フィルムの左下の角を持ち、ゆっくりとはがす

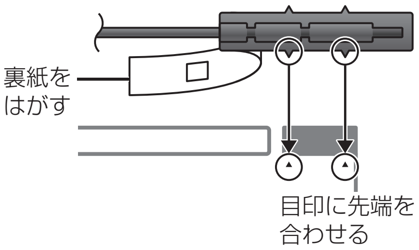
- アンテナがフィルム側に残る場合は、フィルムをもとに戻してアンテナ上をこすり、再度はがしてください。



アンテナコードを取り付ける

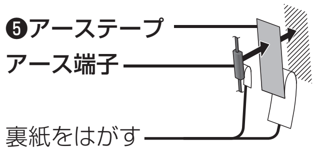


1 コードの端子をアンテナの給電部に貼る。

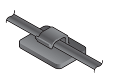


2 アース端子を金属部(塗装面)に貼り付けて、コードを引き回す

- **必ずアース端子を正しく貼り付けてください。VICSの受信感度が低下する原因になります。**
- **必ず、アーステープを貼ってください。**
- 金属部の塗装をヤスリなどではがす必要はありません。



3 コードを引き回す



- シガーライターコードなど、他のコードからできるだけ離してください。また、束ねたり交差させたりしないでください。VICSの受信感度が低下する原因になります。

4 クレードルに接続する